

トレンド

「ボイトレ教室」が熱い

若い頃のような高くきれいな声を取り戻したい。ミュージシャンや声優のようにカッコいい声がほしい……。ボイトレ・ニング教室での「声磨き」熱が高まっている。ビジネス・スマンも、営業などで説得力のある声を身につけるために研さんを欠かさない。理想の声を追い求める人々とは？

「低くカスカスな声になってしまった……」が、月1回の練習で「あの頃の声のハリが少しずつ取り戻せてきて、幸せ」(尾高さん)。

00人のうち、30代以上が約半数。岩崎さんによると、年を取ると声帯周辺の筋肉が衰え、男性は声がかたくなって高く、女性も低い声になるが、鍛え直せば若い頃に戻るといふ。「女性の間で、声のアンチエイジングも関心が高くなってきた」(岩崎さん)

「会社のプレゼンに説得力」



ボイトレ・ニングセミナーで講師(中央)の指導を受けながら発声練習をするビジネススマン(東京都新宿区)

声

で生まれ変わる

「ホーツと高い声を出すとときは、『ムンクの叫び』みたいな顔の形をイメージして」。3月上旬、東京・世田谷の音楽スタジオで、50歳の女性3人がピアノやCDの曲に合わせて、「ホ」の形に口をすぼませる。約1時間、インストラクターの岩崎えり子さんが手ぶりを交え教える中、壁の鏡で自分の姿勢や口の形に注意しながら、低音から高音までをなめらかに歌い上げた。

生徒の1人、東京・目黒の保育士、尾高愛子さんは「昔はもっとキラキラした声色だった」と振り返る。32歳で出産を機に小学校の教員を退職し、育児に追われる中、声をあまり使わない生活

「あの頃のハリを」

「でかっさいい声に近づきたい」(青木さん)から。最近ではカラオケで演歌を歌うと会社の上司

から「ディナーショーを聞きに来たみたい」と褒められるという。「自分の声が今まで以上に好きになった」(青木さん)。

声の印象 こうしてアップ

<p>口角を上げて</p> <p>ニコツと笑った表情で話すと、声が高めに。電話対応でも、好感度がアップ</p>		<p>姿勢を正して</p> <p>猫背では声が出づらい。ヘソの下3センチあたりに力を入れると声は通りやすくなる</p>
<p>アゴは上げずに</p> <p>話すときはアゴを軽く引く。喉が楽になり、長時間話しやすくなる</p>		<p>単語の冒頭で息を吐く</p> <p>格段に聞き取りやすくなる。早口言葉さえ言いやすくなる</p>

「腹式呼吸」心がけて

腹から意識してたくさん息を吐く。吐きながら発声するとよく通る声に

(注)ボイトレ・ニング・秋竹朋子さんの例

「ビジネススマンも仕事の武器として声磨きに励む。7日、東京・新宿のセミナー・ルームで開かれたビジネススマン向けの初心者向けボイトレの教室には、会社員や会社経営者、医師など男女22人が集まった。営業や講演などで話す機会が多い人ばかり。「おなかで呼吸すれば自然と滑舌は良くなります」。「単語のアタマを強調して話すと、声がよく通って説得力も増しますよ」。講師の秋竹朋子さんの解説を聞き、参加者は背筋を伸ばし発声や挨拶の練習に集中した。

素人がカラオケで得点を競ってテレビ番組が人気になり、動画サイトで気軽に自分の歌声を発信するなど、声を意識する機会は格段に増えている。ファッションや美容と同様、声も自分磨きのポイントになっているようだ。(服部良祐)



手すき和紙で粋なカバン

あえてデリケートな素材を選び「はかなさの中に宿る粋」を表現したと語るのは「手漉(てす)き和紙カバン しゅ・わ・りん」の制作者WAKAKO(石井稚子)さん。



再生と循環などの意味を持ち、縁起が良いとされる渦巻き模様の手漉き和紙に手作業で彩色。表面には水加工を施し、持ち手と角は本革を使用。軽さと風合いが楽しめて洋服、和服どちらにでも似合う。価格は1万8500円(税別)、チャームは別途2000円(同)。問い合わせはTWトレジャー(大阪市、http://tw-treasure.com/)。

いち早 Check

ペンセット、筆箱いらず

お気に入りの筆記具をひとまとめにでき、筆箱要らずでコンパクトの持ち運べる文具「アトラインボックス」が登場した。三角形のボディの2側面には凹凸パターンが付いていて、凹面と凸面をブロックのようにつなぎ合わせて複数の筆記具を連結することができる。

種類は水性サインペン全18色(税別120円)、蛍光マーカー全6色(同120円)、油性ボールペン全3色(同150円)、シャープペンシル(同150円)、水性カラーペン全12色(6色セット同600円)。詳しくはシャチハタ(名古屋市、052・523・6935)まで。

